

「新技術で命を守る」スマートシティ推進事業

【事業名】

「新技術で命を守る」スマートシティ推進事業

(「空飛ぶクルマ」も見据えた新たな救急搬送体制づくり事業)

・採択額 72,746千円



【事業概要】

大学病院等の高度医療拠点から遠く、人命救助の別れ目とされる「15分ルール」の外に位置する本市にとって、「一人でも多くの命を救う」救急搬送システムの確立が急務。

「空飛ぶクルマ」を医師搬送または救急搬送などに活用し、既存の救急車やドクターカー、ドクターヘリなどの救急モビリティと連携し、助かる命を増やすことを目指すとともに、防災分野においても災害時の物資や人の輸送で活用。

- ①医療・防災用空飛ぶクルマ実装計画の策定に向けた離着陸場や運航ルート等に係る各種調査、空飛ぶクルマの飛行実験、実用化のための国の関係省庁や空飛ぶクルマ製造企業に対する提言書作成等を実施
- ②医療・防災関係者の参画による講演会・ワークショップの開催及びシミュレータの展示等
- ③医療・防災分野における空飛ぶクルマのルート等調査及びそのシミュレーションを行うためのシステム導入
- ④救急搬送時のライブ配信システム導入調査・一部導入及び航空モビリティとの患者情報共有システム導入効果検証・機能改修
- ⑤QaaSシステム運用・除細動器クラウドとの連携
- ⑥QaaSシステム用タブレット端末回線使用料

